

教員募集 東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻

東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻では、原子力工学の基礎基盤として重要な、高エネルギー粒子物理・化学・生物学の研究と教育を推進している。研究を進める際には、工学と理学のバランス、および外部機関や他専攻との連携を大切にしている。

この分野の研究教育を担当する教員を、下記のとおり募集する。

記

募集人員： 教授・准教授 若干名

専門分野：

高エネルギー粒子物理・化学・生物学に関連し、原子力工学の将来の発展を担う分野：

原子力工学の基盤である MeV (10^6 eV) オーダーのエネルギーを制御して、レーザーなどのコヒーレント光の技術、電子や陽電子などの素粒子の利用、陽子やイオンなどの応用によって、物質相互作用の物理と化学のみならず、生体現象の原理的解明を推進する。例えば、フェムト・アト秒オーダーの極短のパルスを発生させ、これをレーザーパルスと同期することによって、物質と粒子や光の極短時間の相互作用の解明、溶液系、高温・超臨界圧水の放射線化学の基礎過程の解明、高出力イオンビームによる物質照射効果の基礎過程の分析などの研究が挙げられる。素粒子や光・レーザーの生成・制御技術、計測技術は、これまで大型の物理実験用加速器技術であったのに対し、最新のナノテク科学技術を駆使したコンパクト化を実現させ、ピンポイントビームなどの高品質ビームによって、非平衡物理や新たな反応プロセスに基づいた新物質創成や、DNA の損傷・修復の基礎過程の解明、低線量被曝への知見の蓄積などの研究を行う。原子力工学の将来の発展を担う分野の創成を期待する。

上記研究の中で、以下の3つの領域のうち、一つを選択していただく。

A. 物理領域

ナノテクノロジー・アトムテクノロジー、ビーム・光科学、放射線・物質相互作用基礎マイクロ過程解明など

B. 化学領域

放射線化学、放射化学、材料化学、アクチニド化学など

C. 生物領域

先進放射線生物学、保健物理など

着任時期： できるだけ早い時期

応募資格： 博士の学位を有する方

任 期： 准教授の場合原則5年（評価の上再任可）

担当科目： 原子力国際専攻、原子力専攻、システム創成学科において、上記
専門分野及び関連の工学基礎分野に関する講義と、プロジェクトなどの演習
科目を担当する。

勤務地： 本郷キャンパス、あるいは研究教育環境に応じて東海キャンパス

提出書類：

- (1) 履歴書（着任可能時期を明記）
- (2) 研究・教育歴
- (3) 発表論文リスト（カテゴリに分類し、共著者をすべて記入）
- (4) 研究・教育に関する着任後の抱負（A4用紙5頁程度以内、書式自由）
- (5) 研究論文の抜刷（主要なもの5編以内）
- (6) 応募者をよく知る研究者2名による推薦状

募集締切： 平成24年2月29日（消印有効）

書類提出・問合せ先：

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻

専攻長 笠原 直人

E-mail kasahara@n.t.u-tokyo.ac.jp

（封筒の表に「教員公募関係」と朱書きし、書留で郵送のこと。

なお公募書類は原則として返却いたしません。）

以上